

令和7年度 第2回 遊佐町総合教育会議 議事録

会議日時 令和8年2月13日（金曜日） 午後3時00分
会議場所 遊佐町防災センター2階会議室
開会時刻 午後3時00分
閉会時刻 午後5時00分日時
出席者 ・構成員 遊佐町長 松永裕美
(教育委員会) 教育長 土門敦 教育長職務代理者 松本三也、
委員 齊藤敦子 委員 帯谷賢道
欠席者 委員 土門宏典

・説明調整員 総務課長 鳥海広行 企画課長 渡会和裕

・事務局 教育課長 荒木茂
教育課長補佐兼文化係長 友野毅
総務学事係長 曾根原優
学校指導係長兼指導主事 佐藤尚
社会教育係長 菅原悠

協議事項 (1) 令和8年度教育委員会重点事業について
(2) 令和8年度以降の奥の細道鳥海ツーデーマーチの開催方針の検討について
(3) その他

協議内容の概要

荒木 教育課長	<p>大変お忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございます。 それでは、只今より令和7年度第2回遊佐町総合教育会議を開催いたします。</p> <p>本日、委員の出席ですけれども、土門委員が所用につき本日欠席ということで連絡を受けています。</p> <p>あと、帯谷委員が他の会議が長引いてしまって、終わり次第こちらに向かうということでしたので、終わりましたらこちらに参加いただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、始めて参りたいと思います。 それでは、挨拶を松永町長から、よろしくお願いいたします。</p>
松永町長	<p>皆様、こんにちは。</p> <p>遊佐町におきましては皆様ご承知の通り、私就任してから教育の部門、幼稚園、保育園もそうですが、学校教育に力を入れていくというその思いは、今も変わっておりません。</p> <p>教育がきちんと子供達に、本当にどこの自治体よりも高い教育、優しい教育、心豊かな教育ができるような町づくりをしていこうとここまで、教育長と協力してやってきました。</p> <p>先日の会議でも、いじめはあるけれど学校の先生、保護者の皆様のご協力、まずは大きな、例えば喧嘩いじめはあるにしても解決をしていますという</p>

	<p>答えをいただいて、ただそれでも保護者の皆様には、ご迷惑をかけているとは思いますが、まずはじめや色々な差別をなく学校生活を送れるよう毎日見守らせていただいております。</p> <p>今日は遊佐町総合教育会議ということで、よろしく願いいたします。</p>
荒木 教育課長	<p>ありがとうございます。</p> <p>早速、協議に入りますけれども、町長の方から座長ということで進行をお願いしたいのですけれども、よろしいでしょうか。</p>
松永町長	<p>分かりました。</p> <p>(1)の報告事項について、令和8年度教育委員会重点事業について、よろしく願いいたします。</p>
佐藤係長	<p>資料により説明</p>
松永町長	<p>ありがとうございました。</p> <p>では、今の件につきましてご質問やご意見など何かありましたら、挙手の上お聞きしたいと思います。</p> <p>お願いします。</p>
松本委員	<p>特別支援教育アドバイザー、それからスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー配置、遊佐町は非常に手厚くて私は本当ありがたいと思っていました。</p> <p>今年、実際の実績は、どのくらいなのでしょう。</p> <p>相談状況で、例えば先生方の手が回らない状態であれば、人員を増やさなければいけないと思うし、もしそうでもない状況であれば、学校とか委員会から働きかけて、相談したい保護者はいっぱいいると思うので、そういう働きかけをしていったらいいと思っているのですが、どうでしょうか。</p>
松永町長	<p>佐藤先生、お願いします。</p>
佐藤係長	<p>アドバイザーとスクールカウンセラーについてですが、配当時間が県の予算でも決まっています、それで十分でないときは、町でも予算を組んでいただいて、それで補充するような形を取っています。</p> <p>ただお二人のカウンセラーの先生は他でも仕事をされていて、遊佐町に月から金まで毎日来れる勤務状況ではなくて、週2回とかそんなところで勤務されています。</p> <p>その時に小学校訪問する日、中学校訪問する日も年間で決めておきまして、そのタイミングをみて、先生方からカウンセラーの先生に、このようなケースがあったが、校内で検討したらいいのか、それとも早急に面談しないといけないのか、そういったところを相談し、見極めて対応していただいているところなんです。</p> <p>ただ、そのような日、その時間にまず収まるようお願いしていて、学校の先生方もそういったところは配慮していただいております。</p> <p>ただケースによって、夜でないとか中々面談できないというので7時、8時くらいの面談もありますし、あと仕事の都合でこの曜日でないとか駄目なんだというときは、カウンセラーの先生から都合をつけていただいて、その曜日に実施</p>

	<p>していただいているというので、まず予算の範囲内では収まっている現状です。</p> <p>スクールソーシャルワーカーは、毎回学校というわけではなく、教育委員会に勤務をして資料をまとめたり、社会福祉協議会に連絡をしたり、他の施設と連携をとったり、いろんな勤務があるので、学校と事務的なところとバランスをとって勤務していただいているところです。</p> <p>時間的にも、ちょうどピッタリのぐらいのところでは何かやっているところではあります。</p>
土門 教育長	<p>今の松本先生の話で、保護者とか町民がもっと相談したいというのは、担当としては感じるどころか、またペアレントトレーニングとかやっているのでも、それも紹介していただけますか。</p>
松永町長	<p>佐藤先生、お願いします。</p>
佐藤係長	<p>相談の声があれば、色んなところに繋げるんですけども、中々まだ声を出せていない方もいますので、そちらはチラシやホームページにもこれから載せる予定でおります。</p> <p>まず、広く周知をして、育てにくさとか困り感とか持っている方を一人でも寄り添っていけたらと考えているところです。</p>
土門 教育長	<p>教育委員会だけでなく、他の会との連携もとっているのですか。</p>
佐藤係長	<p>健康福祉課の健康支援係と連携を取っています。</p> <p>やはり子供のことでと生まれたときから関わっている保健師も多く、家庭の状況ですとか生育歴といったところも、かなり情報をいただいております。</p> <p>また、要対協に上がってくるような支援が必要な家庭やお子さんについても、情報を共有しながら一緒に対応していくところもあります。</p>
松本委員	<p>どうもありがとうございます。</p>
松永町長	<p>ありがとうございます。はい、齊藤委員どうぞ。</p>
齊藤委員	<p>コミュニティスクールの推進のところで、学習支援塾の開催の項目がありますが、今年度は7割参加ということでしたが、その中で学校訪問の時の中学校のアンケートをみますと、全15回の9月から2月よりも、もっと増やして欲しいという声はなかったのですか。</p>
佐藤係長	<p>そういう声も出ております。</p> <p>また、講師の先生からも、もっと教えたいというので、もっとという声は出ています。その意見は大半ではないですけども、やはり魅力的な生徒も中にはおります。</p>
齊藤委員	<p>増やす方向では、考えられませんか。</p>
佐藤係長	<p>今、反省というか振り返りをもとに話し合っている最中でして、また予算も</p>

	あるものですから、どこまでできるのか検討させていただければと思います。
齊藤委員	ぜひ、お願いします。
松永町長	<p>ありがとうございました。</p> <p>関連して私からひとつだけ、学習塾の件は実は今回締め切りに間に合わなかったかなというお子様のご家庭から、柔軟に対応していただいたという声がありました。やはりそういうところが、遊佐の場合はやる気のある子に対してすぐ先生達が動いてくれて教育委員会に繋いでくれたりして、ありがたいとおっしゃっていたので、伝えておきたいと思いました。</p>
土門教育長	<p>私も関連して、この学習支援塾は元をたどると町長さんが議員時代に、酒田にはたくさん塾があるけど遊佐には塾がないということで、何かできないかということから出発したものです。</p> <p>学習支援塾の狙いとしては、当然学力の向上はあるのですが、15回でそれを全部補うということは当然無理な訳で、ただ講師陣が10名という非常に充実した講師陣なので、基礎と応用、子供達は仲の良い友達と一緒に学べるという、これが一番で、それで毎週土曜日が待ち遠しいというそういう声もあつてですね、講師の皆さんは熱意があるものですから、予算が決まっているなら1回の講師料を減らしてでもいいから、回数を増やせないか、という声まであるのですが、これから感想をまとめて、次年度に向け提案していくというような話を内部でしておりましたので、報告したいと思います。以上です。</p>
松永町長	<p>次に進んでよろしいでしょうか。</p> <p>次、総務学事係お願いいたします。</p>
曾根原係長	資料により説明
松永町長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、委員の皆様から質問を伺いたいと思います。松本先生お願いします。</p>
松本委員	<p>まず1点目ですが、134番の特別支援教育支援員等配置事業で修学旅行引率も含むということで、修学旅行でも引率を認めているということで、これは酒田市では出張が無理なので、大変困った経験があったので、これからは是非続けていただきたいと思います。</p> <p>2つ目ですが、最後の夏場のプール開放ですが、子供達も水泳嫌い好きなので、開放してあげたいという気持ちは十分私も思うんですけど、今の状況考えると8月上旬といっても30度を超える日がほとんどで、こうなるとプール使用不可という状況になるのではないかと思います。</p> <p>やっぱり実際にやってみて、来たけれどプールに入れずに帰らないといけなとか、出てくるのではないかと思いますので、水温が低ければまだ大丈夫かなと思います。普通の水道水で塩素を入れてある程度時間をおいてなものですから、また入替はシーズンに1回くらいしかできませんから、そうなった場合に水温が前日の温度からプラスしていく訳なので、実際に子供たちの健康面を考えた場合には、無理な場合はやむを得ないのではないかと思います。</p> <p>例えば補水する場合に、可能かどうかかわからないですが、私たちが遊佐小の時はプールの水が井戸水だったので水温がとても低くて、ああいう風に使うこ</p>

とが出来れば、ある程度水温の上昇を抑えることが出来るかなというのがあるのですが、今度衛生面の問題が出てくるので、その辺よく検討していただいて進めていただければと思います。

松永町長

大変貴重なご意見ありがとうございました。

荒木
教育課長

今のご意見、私もごもっともだと思ってました。

今考えているのは、小学校が7月30日までありますので、週明けて1週目の1週間の間といっても、その火曜日から金曜日まで4日間とか、そのぐらいになるのかなと思っています。

あと2週目になってきますと、お盆の時期になってきますので、夏休み最初の1週間というようなイメージをしています。

その中で、午前中だけという形かなというところで思ってます。

やっぱり懸念されるのは、開放しても猛暑でできないのかなという懸念があり、中止の時どのようにお知らせするかというところ、その辺もいい方法がないかと考えておりました。

どうしてもプールが熱くなるというところとか、日陰が中々ないというところもありますが、まず1回何とかプール解放の実施に向けて取り組みたいというところでの検討をしており、学校の方からは、どうしても夏休みのプール当番が学校の負担でもあるので、そこは学校には迷惑をかけない形で、町の方でスタッフを確保して、当然塩素とかの管理や水温管理も含めた形でやればなというところで今、人材の確保にあたっているところでございます。

中学校の特別支援の先生に、昔ライフセイバーしていた方とかもいらっしゃってその方にも声かけたり、西浜のライフセイバーにも声掛けしたりしながら、上手く人員確保出来ればなと思っています。以上です。

松永町長

ありがとうございます。

土門
教育長

補足ですが、ライフセイバーに声をかけるということで、ライフセイバーに教育長室に来ていただいて、色々話したこともあるんですがその時に、子供たちの思いとか何とかできないかということで、遊佐町民プールとして1学期水泳指導してきた環境をなんとか、町としてプールを開放できないかというところで、今度の夏は猛暑になるとは思いますが、それに向かってみたいと思います。

里の名水、湧き水をなんとか有効利用できないかとか様々、そのライフセイバーの方がいうには、遊佐町では吹浦小学校のプールは大変素晴らしいんだそうです。吹浦小学校で、それを今は全然使っていないと、あんな勿体ないことないんじゃないかということ言われています。

最初は遊佐小のプールなんですけれど、これからどうなるかわかりませんが、それが上手くい方向にいけば、吹浦小学校も、遊佐と吹浦だという感じで、人員が確保出来ればそういったところで、これはまだ確定ではないんですが、吹浦小学校のプールを利用しないというのは、これはもったいないですよと強く言われてますので、まずはそのような現状です。

荒木
教育課長

町民プールとして開放するという形で、プールは学校のプールではありませんけれども、教育委員会管理ということでその管理の中で、保護者の方から基本的には連れてきてもらってまた連れて帰ってもらう、近場の子供達は自分で来ることもあるんでしょうけども、基本的にはそういうスタイルで、ですから保

	<p>護者とかも一緒に泳いでもらってもそれはいいのかなと思ってますし、そういうところはこれから詳しく詰めて参りたいと思います。</p>
松永町長	<p>例えば、蕨岡とか他の父兄の方だったらバスがちょっと欲しいですねとか、様々でてくると思うのでね。</p> <p>ただ、遊佐町は海が近いので、ぜひ、子供たちの安全を考えて水に親しむというのは絶対に、水の事故は本当に怖いので、大事なことなので、できることを考えてお願いしたいと思います。</p> <p>いいご質問ありがとうございました。</p>
帯谷委員	<p>元々は、何か地域からご要望がでたものを検討したということでしょうか。</p>
荒木 教育課長	<p>こちらについては学校の方からは、やはりPTA保護者でのそういった監視体制とかは大変だと、また先生方、夏休みのプール当番はかなり大変なので、ただしその夏休みのプール開放というのは、子供たちにとっても非常にありがたい事業でもあるし、是非やるのであれば町の方で町民プールとしてやって欲しいと、そういった校長会からのお話もありまして、また、一部議員の方からもプール開放は統合したらしめないのかというようなお話をいただいていることもありまして、遊佐小でしたら当然夏、7月までは学校でプールをやっていますので、そこを引き続き使わせてもらってというところで、より現実的にやるのかなと、ただ旧小学校は中々プール掃除したり、水を新しく入れたり、中々費用面とかもありまして無理だけれども、遊佐小については何とか少しでもできるのかなと検討しているところであります。</p>
松永町長	<p>では、次のページいきたいと思います。</p> <p>では、文化係さんお願いします。</p>
友野補佐	<p>資料により説明</p>
松永町長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは今の件についてお願いします。</p>
齊藤委員	<p>旧吹浦小学校の小山崎遺跡のあれに関しては、もう決定でよろしいですか。</p> <p>一旦お話がなくなりましたよね。それから、住宅地としてするとか色んな話しが聞こえてきたので、全然それはなくなって、体育館も含めて全部、全館資料館としてでよろしいですか。</p>
友野補佐	<p>計画上では体育館は、現在と同じく社会体育施設の一つとして、引き続き町民の皆さんの使用に供するというので、計画上では吹浦小学校の中の、今すでに放課後子供教室であるとか等で使っている部分もありますが、その残余の部分、それ以外の部分を今後ガイダンス施設の計画として検討していくとしています。</p> <p>この間、その他の旧校舎の使用の要望が外部から寄せられたというのもあったようですけれども、それらも踏まえた上で改めて検討して、小山崎遺跡のガイダンス施設にということで庁内で、この組織の中では決定したというところでございます。</p>
齊藤委員	<p>わかりました。</p>

	ありがとうございます。
荒木 教育課長	私からもいいですか。
松永町長	はい。お願いします。
荒木 教育課長	<p>今の小山崎遺跡ガイダンス施設という件で、吹浦小学校については特に吹浦地区の住民の皆さんが、やはり津波とかそういう災害あった時の避難所となるものですから、非常にそういったところを懸念している部分があったようですので、そういった避難できる、当然体育館あればそこに避難したりできる訳なんですけれども、昨今の事情だとどうしても、そこだけじゃなくもっと小さい部屋も必要だとか、そういった話しも出ているようです。</p> <p>そういったこれからのガイダンス施設の整備につきましては、十分地域とも色んなやり取りしながら、お互いに納得できるような形で、特に地域の安全の部分とか、あと小山崎でやはり地域の活性化とかに繋げるとか、賑わいにも繋げる部分もありますので、そういったところでしっかり地区と議論して参りたいと思います。</p>
松永町長	<p>よろしくお願いします。</p> <p>帯谷委員いかかでしょうか。</p>
帯谷委員	<p>吹浦小学校に5年いましてので、凄く使い勝手がいいところだなと思っていました。先ほどのプールも含めて。</p> <p>割と平屋が多いので、元々は福祉的な施設を想定しながら造ったような話もお聞きしたんですけれども、今の防災のところ、私も少し気になっていて、倉庫は今も機能していますか？防災倉庫。</p>
荒木 教育課長	はい。
帯谷委員	<p>体育館を中心に割と細長いので、来賓・職員の出入口のあたりから北側と言いますか、使いながら防災的な機能もできるかもしれないし、教室での一部、ランチルームもあるので、あの辺を使えば確かにガイダンス機能というのはいいのかなと思ってはいましたので、いい試みだとは思いました。補助事業、補助関係が難しいということですのでけれども、別に予算化は考えている訳ですよね。</p>
友野補佐	<p>はい。この整備にあつての補助事業ですけれども、今後来年度から施設の検討を始めて実際に整備する段に合わせて、この申請をして補助をいただくということで、今のところはまだ、こういうことが想定されるということだけの記載になります。</p>
帯谷委員	はい。わかりました。
松永町長	<p>はい。ありがとうございました。</p> <p>文化係は終わりです。よろしかったでしょうか。</p> <p>では、（1）最後になります。社会教育係お願いします。</p>

菅原係長	資料により説明
松永町長	ありがとうございました。 それでは、最後になります。 社会教育係の質問等よろしくお願ひします。
松本委員	質問ではないんですが、生涯学習の基礎的環境づくりの(3)の②、家庭教育支援チーム(仮称)の設置ということで、具体的にどう動いていくのか、まだ分からないんですが、小学校でみると家庭でも色んな行事に対する参加体制も、親御さんからこうアドバイスをもらえないような子どもさんが結構いました。ですから、こういう形で、支援できるような体制作れば、大変いいと思うので、どうか進めていただければありがたいと思います。
松永町長	はい。ありがとうございます。 齊藤委員お願ひします。。
齊藤委員	新しく吹浦保育園のあとに吹浦キッズができる訳ですけども、二つがひとつになった訳なので、収容人数が、例えば入所したいけどどこも引き受けてくれないという方については、今のところ大丈夫ですか。
松永町長	はい。お願ひします。
菅原係長	主管が福祉の方になるのですが、今現時点での情報をいただいたところによりますと、定員40名のところで、やはり申込したけれどもお断りせざるを得なかった方がいるんですけども、その方たちはどちらかというと平日日中使うのではなくて、長期休暇中に利用したい方がどうしてもお断りせざるを得なかったと聞いております。普段使う方に関しては、申込は大丈夫だったということでは聞いております。 あと長期休暇の方達をどう支援していくかというところは、やはり教育委員会と福祉で調整しながら、どう持っていくかというところで協議が必要かなと思っております。
齊藤委員	実際まだ返事をもらえてないという方もいたので、もう本当にどうしようと青ざめていらしたので、ぜひよろしくお願ひします。
松永町長	連携させていただきます。
荒木教育課長	私が聞いた話だと、つい先日、決定通知を出したとのことなので、間もなく届く頃なのかと、ちょうど出した頃とのことでした。
松永町長	ご心配をおかけしまして、お会いしたらお伝えください。
齊藤委員	わかりました。ありがとうございました。
松永町長	お願ひします。
帯谷委員	ご質問になりますが、少年議会について、入れ替えと申しますか、参議院の

	<p>ように半分ずつという訳にもいかないでしょうし、少年町長さんも多分3年間フルに任期でもない、かぶっているんですか。</p> <p>2年、3年に渡って、つまり1年であと終わるとい方は意外と少ないのかなと思ってたんですけども、どのくらいが継続して、どのくらいが1年で辞めて、次の年の再任といいますか、それでも受け継ぐっていうのは難しいのかなと、どのような状況なのでしょう。</p>
菅原係長	<p>やはり3年生になって立候補される方が多いのかなとみておりました。</p> <p>高校3年とか中学3年生とか、1年生の子、2年生の子もいらっしゃるんですけども、その中でやはり高校3年生ですとそこで終わってしまいますし、中学3年生だと、今現時点だと遊佐高校生の子と少年町長の子だけが重なって残っている。</p> <p>他の高校に行ったときに、やはり移動とかセンターの方へ酒田から来れないとか、そういった問題で次に繋がりづらいのかなというところと、その後、その引き継ぐというところが、大人から去年はこういうことをしたからどうだとか、強制的な意味合いになってしまうと、主体的というところと、またちょっと違う風になってしまうので、そのあたりをどういうふうに伝えていったら、その今までの思いを引き継ぎながら活動していけるんだろうなというところで課題としています。</p>
帯谷委員	<p>引き続きいいですか。引き継ぐというのもですけども、今も言っていたように、確かに町長さんだけが地元の方だけでも、やっぱりあの唯一の他校といますかね、あの辺、でも遊佐高さんも結構色んな活動してね、熱心にされているので、凄くこう手を挙げやすいのかなと思いますけど、色んな他校の方々が来て、どうしても遊佐高のみとなってくると、遊佐中生もいらっしゃる訳だけでも、できるだけ発想とかというのでも他の学校の方がなんとか入ってくれるような、希望するような、なんか上手い何かができればいいなという風なことを思っています。</p>
菅原係長	<p>どうしても議員さんのいる学校ですと、今までの活動がわかるから協力もしやすい連携もしやすいけれども、途切れてしまった学校ですと中々こちらから入っていくときに、体制が難しいところがあったり、やはり説明しながら参加して下さいということで進めていかなければいけないと思います。</p>
帯谷委員	<p>他の学校にPR活動はしていないんですよね？</p>
菅原係長	<p>各学校へ説明には行ってるんですけど、高校によっては、ちょっと難しいかなと。チラシだけとか、そういうところの連携の難しさがあるのかなと思います。</p>
帯谷委員	<p>中学校がひとつのポイントなんですね。</p>
菅原係長	<p>はい。そうですね。</p> <p>今年度、小学校の方にも説明に伺っておりまして、中学校に繋がるような形で実施しています。</p>
帯谷委員	<p>それはいいかもしれないですね。高学年あたりだとね。</p>

菅原係長	そうですね。はい。ありがとうございます。
松永町長	どうぞ。
齊藤委員	全国に色んなクラブがあるんですけども、だいたいスポ少とかは6年生になると卒団するんですが、そのクラブは卒団せずずっとそのクラブに名前を残すっていうクラブがあって、なので高校、大学終わって地元に戻ってきたときに、今度は指導者として顔を出してくれる。それが高校であっても大学生であっても地元に戻って来たときには顔を出してくれると、そういうクラブがあるので、例えばそういうふうにOBとしてずっと残ってられる、大学に行っても今はあれで話ができますので、そうやってその会議に参加してもらおうとか、色んな形があってそういう自分達の思いを直に伝えて、こう理解してもらおう機会を大事にしても良さそうかなと思います。
菅原係長	ありがとうございます。
松永町長	ありがとうございます。ぜひ、ブラッシュアップしていただければと思います。 では、(1)終わらせていただきたいと思いますが、続いては(2)の方、令和8年度以降の奥の細道鳥海ツーデーマーチの開催方針の検討について、ご説明よろしく願いいたします。
菅原係長	資料により説明
松永町長	ありがとうございました。 皆様から、ご意見ご質問あればと思います
帯谷委員	湧水とかジオサイトというのは、そのワンデイとは関係なくまずやっている事業なんですよね。 歩くのは歩くで、解説入れると長くかかりますからね。
菅原係長	せっかくウォークの方ですか。 せっかくウォークの方が重複というか、こちらの認定大会とせっかくウォーク、歩くことと重複するかもしれないですが、せっかくウォークの方では、ジオガイドさんを付けて説明をしながら、湧水なら湧水の説明しながらというところで実施できたらと考えております。
帯谷委員	町の宣伝もそうですし、興味を持って調べて歩いているときに、やっぱり湧水とかジオサイトを知るという、PRという面と知るという面で凄くいいなあと思っていました。 特に文化係さんと関係しているんですが、地域の歴史的なものや地理的なのと組み合わせると凄く面白くて、これからもいっぱい取り組んでいただきたいですし、ワンデイウォークのときも、コースをあえてそういう宣伝も兼ねながら、湧水とか地域の歴史的なものや地形的な何か面白いところを、ちょっと宣伝で解説を入れたりとか、コースどりも色々こう考えるとこれから楽しくなってくるのかなと、合わせて、ここではちょっと違うのかも知れないけど、どちらかという企画課になるかもしれませんが、四大祭、地元の人も知るようなツアーといいますか、ここが社会教育との関係がどうなのか、ちょっと良く分か

	<p>らないですけれど、ああいう地元民も含めて知るようなツアー的な、なにか試みがあるといいなと思っているところでした。</p>
松永町長	<p>はい。ありがとうございました。</p>
松本委員	<p>今の帯谷さんの話は大変面白いなと思いました。 前提としてやっぱり熊とイノシシの対応がなんともならないと、これは進められないと思っているんですけど、その辺の安全面確保できれば、やっぱり今まで続いてきた行事なので継続してもらいたいな思います。 今、帯谷さんの方から面白い話があって、いいなと思ったんですけども、例えば10kmコース、20kmコースで前は30km、40kmって、長さでコース決めてましたよね。それを湧水コースとか、神社仏閣コースとか、そんな感じで作れば、町外から来る人が何が見たいのか、長さだけだと分からないので、そういう紹介の仕方がいいのではないかと、遊佐にはいろいろな名所がありますが、そういうところをもっとアピールしていったらいいのかなと思いました。</p>
帯谷委員	<p>旧道コースとかですね。昔ながらの道も、結構見ていくと面白いところがあると思います。</p>
松永町長	<p>松本委員どうぞ。</p>
松本委員	<p>蕨岡で一番びっくりしたのは、日向川に昭和40年まではウナギが揚がってたっていうんですよ。探すと本当に面白い話ある、今はウナギきていないけど。そういうのを出していったら、もっと行ってみたいなって人も増えるんじゃないかなと思います。</p>
友野補佐	<p>情報のご提供ということで、今、歴史であったり様々な遊佐町の名称を周るウォーキングというような要素を入れたらと、ご提案ありがとうございます。 こちら町主催ではないんですけども、ウォーキングクラブ、あと蕨岡のまちづくり協会、こういった地域団体がその歴史の道を歩くというような趣旨で、例えば今お話にしました通称上寺の修験道ウォークという冠で、まさに今おっしゃたような趣旨ですね、大路の道を歩くというようなこともやってらっしゃいますし、あとウォーキングクラブの方では、その佐藤政養をテーマにした、その佐藤政養学びの町を歩くテーマですね、まさにその升川から後藤寺を經由して大井に、政養が当時の師匠筋のところに通ったっていう道を歩くというイベントもやってらっしゃいましたので、そういったこちらの方でも協力させていただいたり、またこちらで開催するイベントでも、そういった要素検討して行ってみたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
松永町長	<p>はい。ありがとうございました。 齊藤委員どうぞ。</p>
齊藤委員	<p>今までのツーデーマーチを1日っていうのは、私も仕方がないのかなと思います。 皆さんが検討してくださっているのは分かるんですが、やっぱり今年のツーデーマーチの時に車で回りますと職員の方ですとか、歩く方を見守っている方がもう倒れるんじゃないかと思って、そんなに暑いときだったので、この日し</p>

<p>松永町長</p>	<p>かないのは分かるんですけども、もうちょっと検討していただいて、ぜひ何事もないようお願いいたします。以上です。</p> <p>ありがとうございました。貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>先日、新しい道の駅の名称を委員会あったときに「えっぺけ」という道の駅の名前で、そこのロゴを考えたときに、「鳥海山で待ち合わせ」という素敵なフレーズが出てきて、例えば、今回のウォーキングもその40都道府県の方がいっらしやるなら、「鳥海山で待ち合わせ」と感じて、変えなきゃいけないことご意見いただいて、いっぱいあるんですけども、まずは先輩達がやってきたことを継続しながらも、ちょっと大胆に変えていく方向に今、舵を切りつつあるので、どうぞまたいつでもいいので、またご意見あったときは思いついたとき、どうぞおしゃっていただいいていいので、いいものを来年こそ作っていきたいと思います。</p> <p>本当に、苦心してここまで職員の皆さんやってきたので、このままなんとかワンデーでいけるかなって思って、無くすってことは中々英断できないってことで、まずは今のこの方向でいかせていただければ幸いです。</p> <p>よろしくようお願いいたします</p>
<p>荒木 教育課長</p>	<p>協議の方ありがとうございました。</p> <p>では、続きまして、4番のその他の方に入りたいと思います。</p> <p>こちらにつきましては、(1)ということで、遊佐町総合発展計画(第9次振興計画)に係る第1期実施計画ということで、企画課の方でよろしいでしょうか。</p>
<p>渡会 企画課長</p>	<p>資料により説明</p>
<p>荒木 教育課長</p>	<p>はい。ありがとうございました。</p> <p>今、総合実施計画の説明ありましたけれども、何かご質問とかよろしいでしょうか。</p> <p>(2)その他ということで、何か皆さんから、その他の議題等ありましたらお願いします。</p> <p>総務課長何かありますか。</p>
<p>鳥海 総務課長</p>	<p>特にはありませんが、先日衆議院議員選挙で色々急な選挙がありましたが、職員の皆さんしかり町民の皆さん、忙しい中、無事終えることが出来ましたので、皆さんのご協力ありがとうございました。</p>
<p>荒木 教育課長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>本日、8年度の計画、予算等も含めてご説明させていただきましたけれども、昨日の議員全員協議会の中で予算の内示ということでありましたが、3月議会でこちらが審議されるということで、予算案ということで、ご承知おきいただければなと思います。</p> <p>新年度パーキングエリアタウンの工事が本格化なるということで、中々財政的に膨らむ中で教育課でも小学校、中学校の給食無償化ですとか、はばたき支援金の部分ですとか、それから学習センターの改築に係る分、そういった教育振興基本計画に係る分とか、なんとか予算の方計上させていただきましたので、なんとかこの今回の案でやっていければなという風に思っておりますの</p>

	<p>で、よろしくしたいなと思います。 他に何かございませんか。</p>
松永町長	<p>私からいいですか。</p>
荒木 教育課長	<p>町長お願いします。</p>
松永町長	<p>今日はありがとうございました。皆さんもお時間ありがとうございました。 はばたき支援金で328名の方、322名が申請し、6名は申請しなくていいというご判断ですか。100%かなと思ってたんですけど。</p>
曾根原係長	<p>広報等で周知させていただいた中で、まず8割方は申請いただいたんですけども、その後に申請いただいてない方につきましては、さくら連絡網を使ってこちらで各、該当するところに声かけさせてもらったんですけども、それでもやはり申請をされなかったというところですよ。</p>
松永町長	<p>わかりました。 もしかしたら、健康福祉課とその6名の方と、また連携した方がよいのかなって、ちょっと推察しております、また少し工夫してみます。</p>
荒木 教育課長	<p>鳥海学園に入ってる人は、みんな学校から来たんですか。</p>
曾根原係長	<p>きておりました。</p>
松永町長	<p>フレームが固まっていて、固定概念でこういう3万円っていうのが凄く喜ばれるのでないかと思い工夫してたつもりだったので、少しまた勉強してみます。 はい。ありがとうございました。</p>
荒木 教育課長	<p>他によろしいでしょうか。 それでは、長時間に渡りましてありがとうございました。 それでは以上をもちまして令和7年度第2回の遊佐町総合教育会議を終了させていただきます。 大変ありがとうございました。</p>